

学習課題（小学校 6 年生）



【国語】計画を立てて、少しずつ取り組んでいきましょう。

<学習内容>

◆「私と本」（教科書 78～91 ページ）に取り組めます。

- (1) 78～79 ページを読み、右の①～⑦について、自分と本との関わりを振り返って、ノートや取組シートに書きましょう。

- ①どんな時、本を読みたくなるか。
- ②どのくらい本を読んでいるか。
- ③どんな読み方をしているか。
- ④どこで読むか。
- ⑤読むと、自分にどんな変化が起きるか。
- ⑥どんな本が好きか。
- ⑦これから読みたいのは、どんな本か。

- (2) 82 ページを読みましょう。そして、これまで自分が読んできた中で特に心に残っている本（1 冊）について、その本がもつテーマを考えて題名と一緒にノートや取組シートに書きましょう。
- (3) 「森へ」（83～91 ページ）を声に出して読みます。そして、①森への
み力だと思うところ ②自分が考える「森へ」のテーマ を、書き
方の例を参考にして、ノートや取組シートに書きましょう。

※【書き方の例】

- ①「森へ」は、「ピロロロ」等の擬音語がたくさん出てきます。まるで本当にその場所において、自然や生き物に出会ったような気持ちになります。
- ②「森へ」のテーマ→「自然の大きさ」

- (4) 81 ページを読みます。そして、(2) で書いた「特に心に残っている本」のテーマを基に、他の本を読み広げましょう。
- ①同じテーマをもつ本をもう一冊探す。
※同じシリーズは避ける。 ※上下巻は、一冊として数える。
 - ②探した 2 冊目の本を読む。
 - ③1 冊目と 2 冊目の本の魅力を考えて、ノートや取組シートに書く。
- (5) 82 ページ「ブックトークの例」を参考に、選んだ 2 冊の本の紹介をノートや取組シートに書きましょう。書き終わったら、82 ページの「たいせつ」を読みましょう。

◆「熟語の成り立ち」で学習する予定の新出漢字（「熟」～「臨」）を練習します。（読み方や書き順などは、301 ページに載っています。）

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・テーマを考えられずに困っている様子でしたら、81 ページを参考にしながら、一緒にテーマを考えてあげてください。
- ・お子さんが選んだ本を図書館で借りるなどのご支援をよろしくお願いします。

【社会】

＜学習内容＞「日本の歴史 1 学期のまとめ」教科書「歴史編」

◆「1 学期のまとめ」（教科書 8～41 ページ）について、取組シートやノートにまとめよう。

- (1) 教科書 6～7 ページを参考に、下の（ ）に言葉を入れて、西暦、世紀、時代についてまとめてみよう。

ことば	せつめい
せい れき 西 暦	・（ ）が生まれたと考えられた年を西暦 1 年として数えている。 ・わたしは、西暦（ ）年 生まれです。
せい き 世 紀	・年表の 100 年ごとの目盛りをひとまとめにして「世紀」とよぶ。西暦 1 年から 100 年までが 1 世紀。 ・21 世紀は、（ ）年 から（ ）年 まで。
時 代	・日本の歴史では、「奈良時代」「江戸時代」など、国の政治が行われた場所などをもとに時代が区切られ、名付けられている。 ・大きなお墓がたくさんつくられた時代は（ ）時代。

- (2) これまでに登場した主な人物について、教科書などで調べ、下の表を完成させよう。

人 物	行ったこと
聖徳太子	
中大兄皇子と 中臣鎌足	
（ ）	・政治を安定させるため平城京から都を移した。 ・仏教の力で国を治めようと国分寺や大仏をつくった。
藤原道長	

- (3) 1 学期に学習した内容について、特に興味や関心をもったことはどんなことですか。また、その理由についても取組シートやノートに書いてみよう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・1 学期の学習範囲について、まとめとして出題します。学習したことを学び直すことで、確かな力として定着します。普段、学校で学習したことも復習すると効果的です。

【算数】

「※」は、学習する時のアドバイスです。

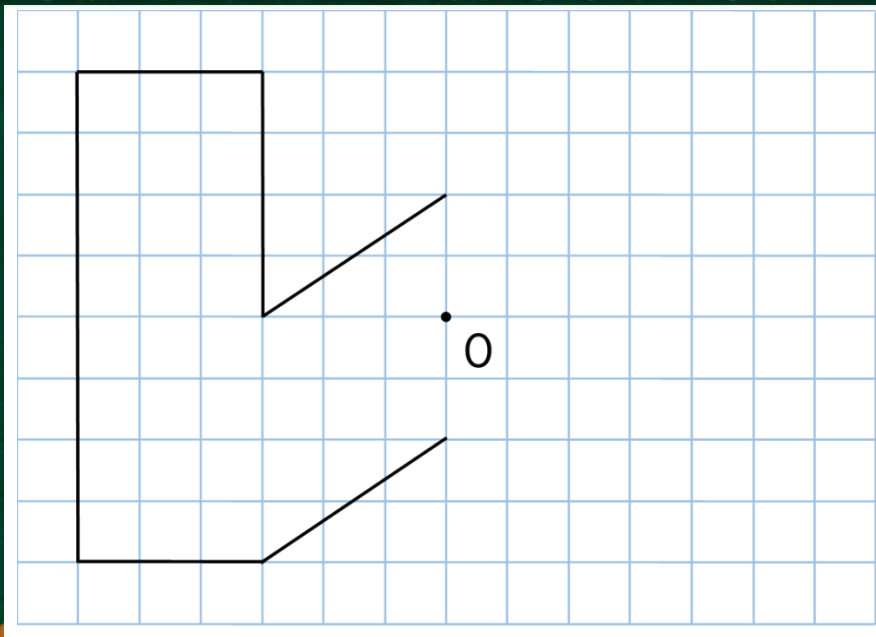
〈学習内容〉 ◆対称な図形（教科書 44 ページ）

点対称な図形もかくことができるかな？



点対称な図形はどのようにかけばよいのかな？

点対称な図形の残り半分をかきましょう。



※大体、どんな図形になるか考えてみよう。

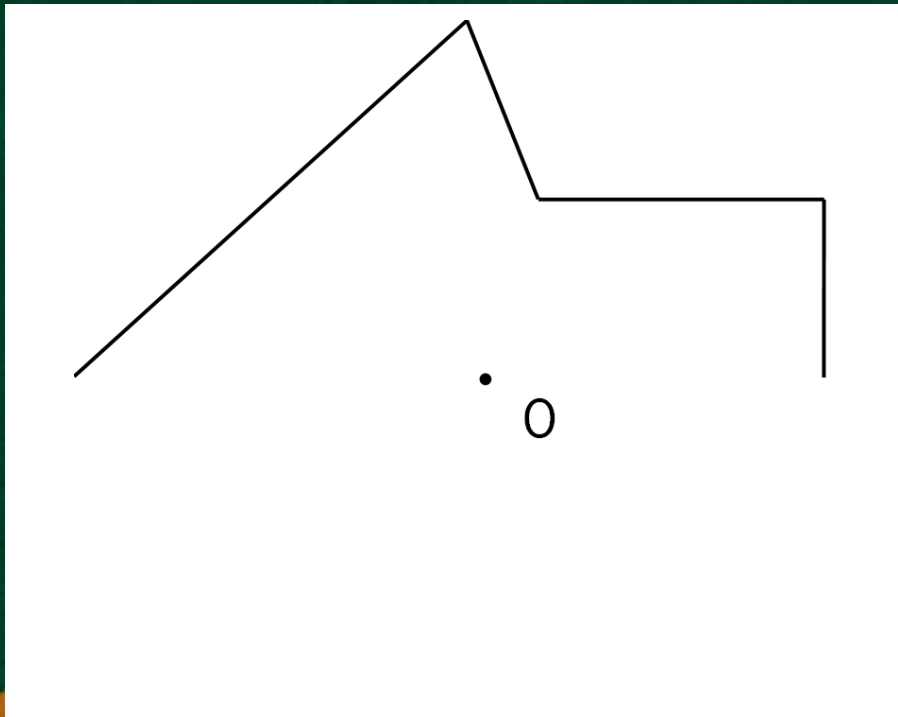


上の図形をどうやってかいたか説明しましょう。

※どのようにかいたか、やったことを順番に書いてみるといいね。「まず、」「次に、」「最後に、」などの言葉を上手に使ってみよう。



次の点対称な図形の残り半分をかきましょう。



※この問題には、マス目がないね。点対称な図形の性質を思い出してみよう。



上の図形をどうやってかいたか説明しましょう。

Handwriting practice lines consisting of five horizontal dashed blue lines within a rounded rectangular box.

ヒント



点対称な図形の性質を使えば、マス目がなくても、線対称な図形をかくことができるね。

◆ 点対称な図形の性質

- 対応する 2 つの点を結ぶ直線は、対称の中心を通ります。
- 対称の中心から、対応する 2 つの点までの長さは等しくなっています。

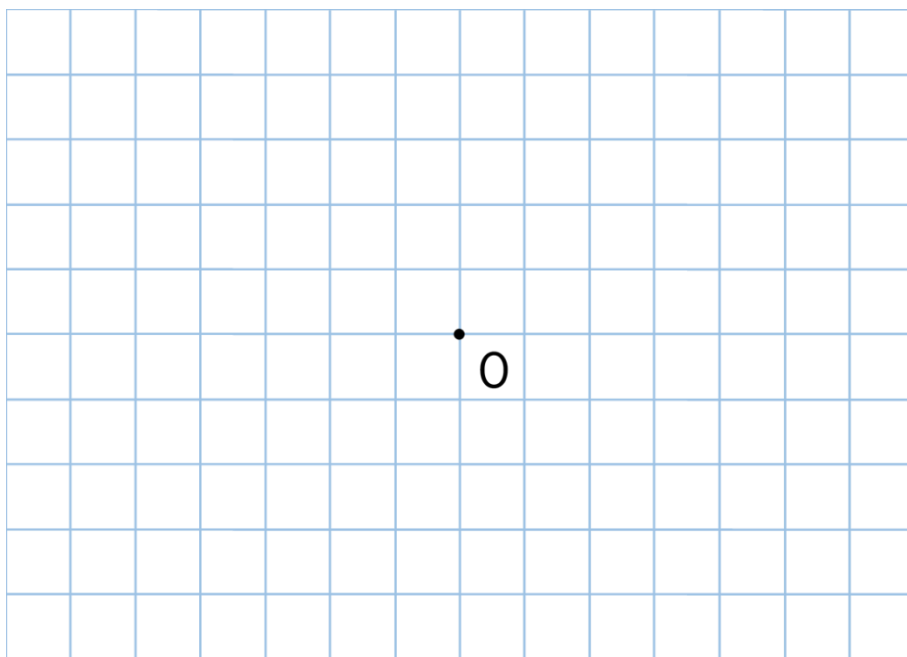
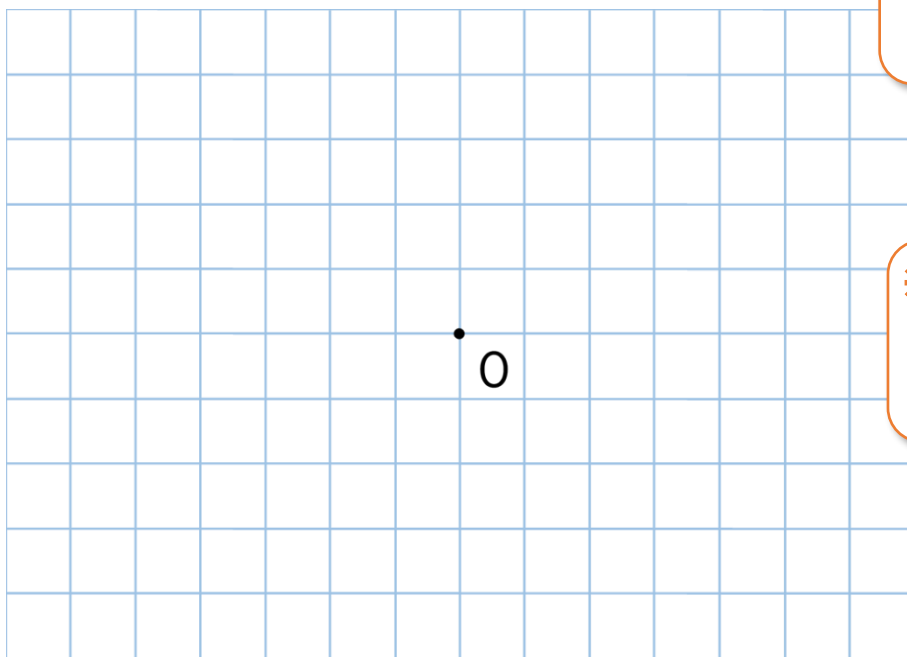


いろいろな点対称な図形をかいてみよう。

※図形をかくときに
使ったいろいろな
線は残しておく
といいよ。



※そうすると、どん
な考えで図形をか
いたかがよくわか
るね。



＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

◆対称な図形（教科書 44 ページ）

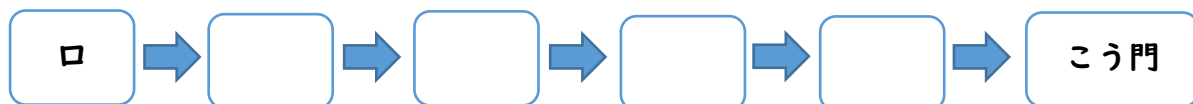
- 点対称な図形の作図は、線対称な図形に比べて、図形全体をイメージすることが難しくなります。対応する頂点を見つける際に、「これだと線対称な図形になってしまう。」
「点対称な図形の性質は…」などと、点対称な図形の性質を線対称な図形のものと比較しながら確認し、作図に生かそうとする様子をほめてあげてください。

【理科】

＜学習内容＞

◆「動物のからだのはたらき」（教科書 37～39 ページ）を読んで、消化や吸収のしくみについて調べます。

①教科書 37 ページを読んで、口からこう門までの食べ物の通り道を調べ、取組シートやノートに書きましょう。



②消化や吸収に関わっている、次の臓器のはたらきを調べ、取組シートやノートに整理しましょう。

- ・ 胃
- ・ 小腸
- ・ 大腸
- ・ 肝臓

【動画を参考にみるのもよいでしょう】

NHK for School「食べ物のゆくえ」

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005301119_00000&p=box



＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・この学習では、消化や吸収のしくみについて、資料を使って調べることを大切にしています。本やインターネットなども活用すると、学びを深めることができます。

【外国語】

＜学習内容＞

◆教科書 34～35 ページ Unit 4「Summer Vacation in the World」に取り組みます。

・今週も★Aと★Bのどちらかを選択して取り組みましょう。

★A：「音声・動画」を使いながら取り組む課題です。

(1)教科書 34・35 ページの Starting Out に取り組みましょう。教科書の QR コードを読み取り、夏休みの過ごし方について、聞こえた順に□に番号を書いてみましょう。答えは取組シート（外国語）やお家のノートに書きましょう。

★B：「音声・動画」を見ないで取り組める課題です。

(1) 教科書 87 ページの Let's Read and Write①と②に取り組みましょう。

① “I went to the mountains.” “I enjoyed camping.”を声に出して言ってみましょう。

② 教科書 87 ページの書き方を見ながら、「自分が行った場所」と「楽しんだこと」を「わたしのせりふ」にかえて、取組シート（外国語）やお家のノートに書き写してみましょう。

(2)教科書 92 ページの Sounds and Letters に取り組みましょう。

・Aa と Ee を取組シート（外国語）に書き写してみましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

■学習補助教材動画を配信しています。必要に応じてご活用ください。

小学校、中学校で共通して学習する内容を紹介しています。

http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/english_hojyo.html



＜配信内容＞

「教科」「状態」「職業」「月」「序数（日付）」「名前の書き方」

「アルファベットの大文字・小文字」「食べ物」「スポーツ」「国」「色」などもあります。

※「取組シート（外国語）」は、札幌市教育委員会ホームページからダウンロードすることができます。

【音楽】パソコンなどで見たりきいたりできる人は、取り組んでみましょう

＜勉強すること＞

◆旋律のまとまりに気を付けながら、『メヌエット』を演奏しましょう（教科書 26～27 ページ）。

(1) 26 ページの楽譜を見ながら、『メヌエット』をきいて、曲の感じをつかみましょう。



(2) 動画を参考にして、「1」のパートをリコーダーで演奏しましょう。ブレスの記号「V」を参考にしながら、旋律のまとまりに気を付けて演奏しましょう。



(3) 動画を参考にして、「2」のパートをリコーダーで練習しましょう。ブレスの記号「V」を参考にしながら、旋律のまとまりに気を付けて演奏しましょう。



(4) たがいの音をきき合って『メヌエット』を演奏しましょう。
※②のパートと合わせて①のパートを演奏してみましょう。



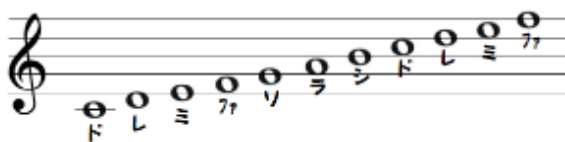
※①のパートと合わせて②のパートを演奏してみましょう。



(5) 27 ページの「美しいひびきで演奏するために」を読んで、演奏に生かしましょう。

※旋律のまとまり、息の強さや流れに気を付ける。

※音を長くのばしているときは、特に相手のパートの音をよくききながら演奏する。



・#ソのリコーダーの運指は 26 ページで確認しよう。

＜保護者による関わり方のポイント＞ ※可能な範囲でお願いします。

- ・「1」と「2」のパートを演奏する際は、階名（ドレミ）を一緒に確認したり、ドレミで歌ってみたり、ゆっくり演奏してみたりするなど、楽しく演奏できるように関わってあげてください。
- ・高い音がうまく出せない場合は、左手親指で押さえる「うらあな」を開けすぎていることがあります。ほんの少しだけにしたり、息のスピードに気を付けたりすると、うまく音が出せる時があります。

【図画工作】



＜学習内容＞

◆「くるくるクランク」（教科書 5・6 年下 16～17 ページ）

- (1) 教科書 5・6 年下 16～17 ページの作品を見てみましょう。
- (2) 教科書の作品や「作り方」の説明を見て、「クランク」の仕組みや動きを想像してみましょう。

※QR コードを読み取ることができる人は右の QR コードを読み取って、クランクの動きを動画でたしかめましょう。下のホームページアドレスからも見ることができます。



<https://www.nichibun-g.co.jp/2020dc/zu/56ge/>

- (3) 自分ならどのようなくるくるクランクの作品をつくるか考えて、ワークシートに、アイデアをかいてみましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・クランクの仕組みは、実際に体験しないと理解が難しい場合がありますので、その場合は、「上下に動く部分があるとおもしろそうな作品」を考え、ワークシートにかいてみるよう促してください。

ワークシート（図画工作 6 年生）

名前 _____

くるくるクランク

① クランクの仕組みを使って、何をつくるか考えて、下に絵をかきましょう。

どんな動きが
おもしろい
かな。

何が動くと
楽しいかな。

クランクの
山は
いくつに
しようかな。

どんな
かざりを
つけようかな。

② 必要な材料や用具を考えて書きましょう。

材料

用具

【体育】

けがをしないよう、まわりをよくたしかめてと組みましよう。

＜学 習 内 容＞

さんこうどうが
※参考動画

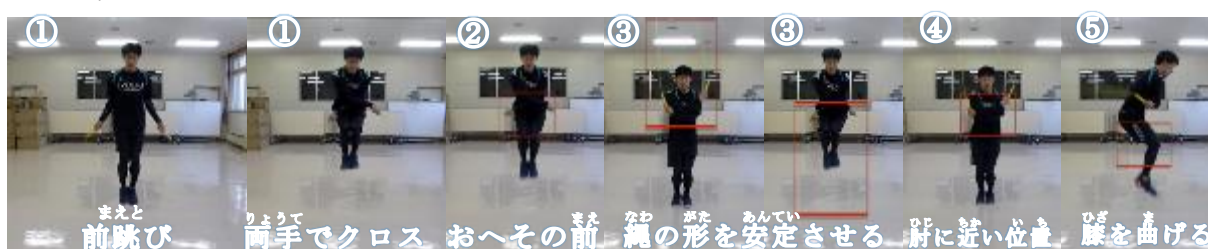
<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/nawatobi.html>



◆「なわ跳び」に取り組みましよう。

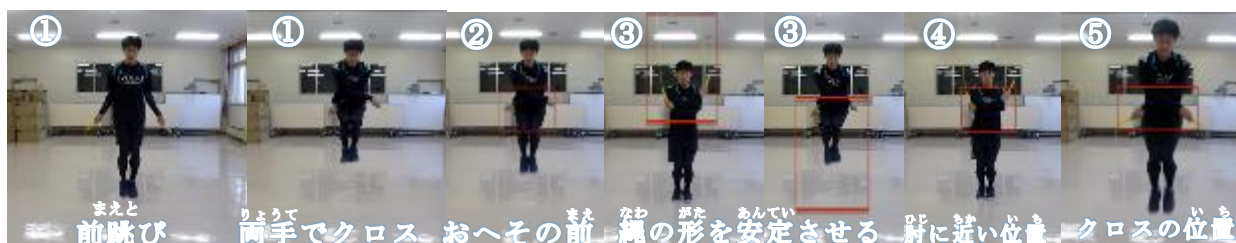
あや跳びや交差跳びに挑戦ましよう。ひとつひとつのステップをクリアすることで、あや跳びや交差跳びができるようになりますよ。

○あや跳びの跳び方



①あやとびは、前跳びを 1 回跳んだ後に両手でなわをクロスして跳び、これを繰り返す跳び方です。コツは、②なわをおへその前でクロスさせます。③回転しているなわの形が安定すると上手に跳べます。④手首ではなく、肘に近い位置でクロスをつくとなわの形が安定します。⑤膝を曲げて跳ぶとなわに引っかかりにくくなるので、試してみてください。

○交差跳びの跳び方



①交差とびは、前跳びを何回か跳んだ後に両手なわをクロスして跳び続ける跳び方です。交差跳びのコツは、あや跳びのコツと似ていて、②なわをおへその前でクロスさせます。③回転しているなわの形が安定すると上手に跳べます。④手首ではなく、肘に近い位置でクロスをつくり、しっかりと手首を回します。⑤クロスが位置が高くならないように気を付けます。

◆連続何回跳べたかや 30 秒 で何回跳べたかを数えてみよう。

繰り返し取り組むと上手になってくるので、たくさんチャレンジしてみてください。動画では、あや跳びと交差跳びの発展技を紹介しています。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

・跳んだ回数を数えてあげたり、頑張りを認める声かけをしたりしてください。